

▶▶▶ 長洲町

重点
プロジェクト

水産振興による地域活性化事業

分類 農林水産振興

総事業費	10,000千円	寄附目標額	—
計画期間	地域再生計画の認定の日…2020年4月1日～2025年3月31日		
数値目標	●町内企業における新規雇用者数 ……………750人(2020年度～2024年度)		

〈SDGs〉関連するゴール



海の恵み再生！6次産業化事業

長洲町は、干満が大きく多様な水生生物が生息する有明海に面し、アサリや海苔などの水産資源に恵まれています。

しかし、近年の大雨などの影響により漁場環境が大きく変化し、特にアサリの漁獲高は著しく減少し、昨年度においては「ゼロ」となっています。

町では、安定的な漁獲量の確保に向け、10年程前に大学や企業と連携し漁場環境改善に向けた取り組みや水産資源の生息環境の研究を始め、検証作業などを行っています。

有明海の恵みを再生し持続可能で確立した産業とするため、そして、水産資源を活かした加工食品開発などの6次産業化を通じた地域活性化を目指し、自然と共存した豊かで強い水産業が営まれるまちづくりを推進します。

有明海の恵みを守り、全国に届けられるよう支援・協力していただける企業様を募っています。



有明海～海苔漁場～

重点
プロジェクト

子育て・教育支援プロジェクト

分類 移住・定住促進

総事業費	10,000千円	寄附目標額	—
計画期間	地域再生計画の認定の日…2020年4月1日～2025年3月31日		
数値目標	●人口社会増数(累計) ……………125人 ●年間における出生者数 ……………120人 ●町民が「住みやすい」と思う割合 ……………85%		

〈SDGs〉関連するゴール



子育て・教育支援プロジェクト

長洲町では、妊娠期から子育て期における切れ目ない支援を目指し、妊娠・出産・育児に関するさまざまな悩みなどを相談できる窓口を開設しています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、子育て世帯の生活様式が大きく変化中、経済面を始めとして子育て世帯に多くの影響がおよび、本町においても多岐に渡る相談が寄せられています。

相談窓口の一つである『はぐくみ館』では、関係機関との連携・調整役として、保健師や助産師、臨床心理士などの専門家によるチーム作りなど、相談者に身近で、寄り添った相談体制を整えています。

また、教育現場においては幼児期からの英語教育の実施やGIGAスクール構想の実現に向けた一人一台のパソコン配備によるICT教育の推進を図るとともに、学校に行きづらい児童・生徒の心の休憩所となる居場所づくりや、就労家庭などの支援に向けた「学童保育」の充実など、教育環境の整備に力を入れています。

未来を担う子どもたちへの投資を充実し、郷土愛の育成とともに、生きる力をはぐくみながら、「主体性をもち生涯を通じて学ぶ人づくり」を目指します。



町内の保育所・こども園での幼児英語教育